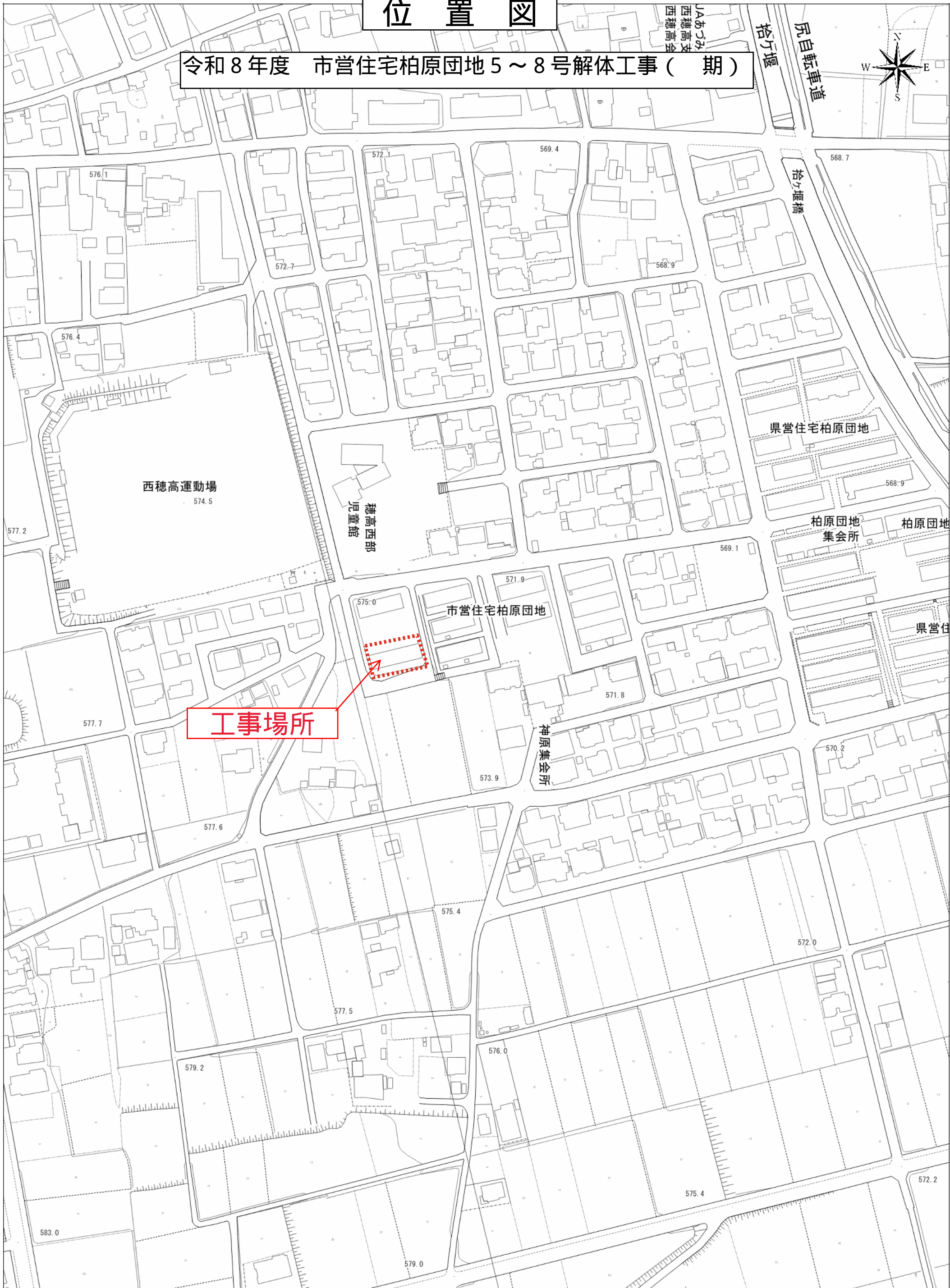
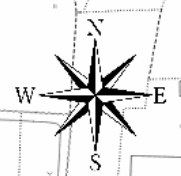


工事番号		(様式－1)													
		課長		課長補佐		係長		係員				検算		担当	
工 事 名		令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事(Ⅰ期) 設計書													
施 工 箇 所		安曇野市 市営住宅柏原団地 金抜設計書													
設 計 大 要								施 工 方 法		請 負					
令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事(Ⅰ期) S46年 5～8号 CB造 平屋 147.2㎡ 解体 解体する2棟における外構の解体、整地工事など								施 工 期 間		日 間					
								契 約 年 月 日		令和 年 月 日					
								竣 工 予 定 年 月 日		令和 9 年 1 月 12 日					
								契 約 保 証 方 法		金 銭 的 保 証					
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用 考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

位置図

令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事（期）



0 20 40 60m
1:2500

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	令和8年度 安曇野市営住宅柏原団地5～8号解体工事（Ⅰ期）						
I	建築主体工事		1	式			
II	機械設備工事		1	式			
	直接工事費計						
V	共通仮設費		1	式			
VI	現場管理費		1	式			
VII	一般管理費		1	式			
	共通費計						
	工事価格						
VIII	消費税相当額	#DIV/0!	1	式			
	総合計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
V	共通仮設費						
i	率仮設		1.0	式			
ii	積上仮設						
	仮囲い 成形鋼板	h=2000存置3ヶ月程度	22.0	m			
	キャスターゲート	H1800W6000程度 3か月程度	1.0	ヶ所			
	仮設鉄板敷き	t 22 3か月 1500×3000 4枚程度	18.0	m ²			
	交通誘導員B	2か月 (20d) ×1.0人想定	40.0	人			
	小計						
	共通仮設費 計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
②	解体工事						
	<解体費>						
	内装仕上材撤去	建具類・間仕切壁・キッチン撤去含む 集積共	147.0	m ²			
	屋根葺き材撤去	洋瓦+瓦棧+ルーフィング材 集積共	216.0	m ²			
	外部建具類撤去	枠共 集積共	42.0	m ²			
	臭突撤去	集積共	4.0	箇所			
	屋根解体	軽鉄トラス+木垂木+野地合板 集積共	216.0	m ²			
		散水費用含む					
	C B造上屋解体	R C臥梁含む 集積共	147.0	m ²			
		散水費用含む					
	土間基礎解体	集積共	147.0	m ²			
	付属構造物解体	集積共	3.7	m ³			
		玄関ポーチ、便槽、踏石コンクリート					
	小小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	< 積込 >						
	発生材積込	木くず類	8.4	t			
	発生材積込	廃プラスチック類	1.6	t			
	発生材積込	ガラス・陶器くず	0.4	t			
	発生材積込	石膏ボード類	1.6	t			
	発生材積込	洋瓦	13.0	t			
	発生材積込	廃畳	1.0	t			
	発生材積込	解体系混合廃棄物	0.4	t			
	発生材積込	金属くず	8.4	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	127.0	t			
	発生材積込	臭突	1.0	式			
	小小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	< 運搬 >						
	発生材運搬	木くず類	8.4	t			
	発生材運搬	廃プラスチック類	1.6	t			
	発生材運搬	ガラス・陶器くず	0.4	t			
	発生材運搬	石膏ボード類	1.6	t			
	発生材運搬	洋瓦	13.0	t			
	発生材運搬	廃畳	1.0	t			
	発生材運搬	解体系混合廃棄物	0.4	t			
	発生材運搬	金属くず	8.4	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	127.0	t			
	発生材運搬	臭突	1.0	式			
	小小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	< 処分 >						
	発生材処分	木くず類	8.4	t			
	発生材処分	廃プラスチック類	1.6	t			
	発生材処分	ガラス・陶器くず	0.4	t			
	発生材処分	石膏ボード類	1.6	t			
	発生材処分	洋瓦	13.0	t			
	発生材処分	廃畳	1.0	t			
	発生材処分	解体系混合廃棄物	0.4	t			
	発生材処分	金属くず	8.4	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	127.0	t			
	発生材処分	臭突	1.0	式			
	小小計						
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
③	アスベスト除去工事	レベル3（非飛散性）					
	内部床モルタル撤去	養生含む	9.0	m ²			
	内部壁モルタル撤去	養生含む	54.4	m ²			
	内部天井セメント板撤去	養生含む	9.0	m ²			
	外部垂直モルタル撤去	養生含む	152.0	m ²			
	軒天スレート板撤去	養生含む	35.0	m ²			
	円筒撤去	養生含む	4.0	カ所			
	外部衝立フレキシブルボード撤去	簡易養生含む	6.5	m ²			
	石綿含有産業廃棄物処理 集積・積込	フルコン詰め	11.0	m ³			
	石綿含有産業廃棄物処理 運搬	中型車（8t）県外搬出80km以下	2.0	回			
	石綿含有産業廃棄物処理 処分	レベル3（非飛散性）	11.0	m ³			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
2	外構解体工事	5～8号					
	<解体費>						
	コンクリート塀撤去	集積共	46.1	m			
	U字溝撤去	U300 集積共	78.0	m			
	排水桝	□250	12.0	箇所			
	雑排水槽撤去	Φ500 H800 鉄板共	1.0	箇所			
	樹木撤去	伐根共 集積共	1.0	式			
		400Φ H2.0m					
	樹木撤去	伐根共 集積共	1.0	式			
		900Φ H2.0m					
	小計						
	<発生材積込>						
	発生材積込	木くず類（生木）	0.4	t			
	発生材積込	コンクリート・がれき類	21.4	t			
	小計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
	<発生材運搬>						
	発生材運搬	木くず類（生木）	0.4	t			
	発生材運搬	コンクリート・がれき類	21.4	t			
	小計						
	<発生材処分>						
	発生材処分	木くず類（生木）	0.4	t			
	発生材処分	コンクリート・がれき類	21.4	t			
	小計						
	合計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
B	機械設備工事						
1	屋外工事		1.0	式			
2	閉栓工事		1.0	式			
3	法定福利費		1.0	式			
4	官公庁申請費		1.0	式			
	機械設備工事 計						

番号	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
1	屋外工事						
	給水露出配管撤去	VB15A	28.0	m			
	保温撤去		28.0	m			
	ガス給湯器撤去	別途（ガス給湯業者）					
	臭突撤去	別途(建築工事)					
	角樹撤去	□300	8.0	箇所			
	排水配管撤去	VUΦ100	24.0	m			
	放流管キャップ止め	φ100	1.0	箇所			
	給水配管撤去	VP25	40.0	m			
	水道メーター（量水器）撤去	止水栓、BOX共	4.0	箇所			
	土工事		1.0	式			
	搬出運搬		1.0	式			
	処分費	別途（建築工事）					
	合計						

[illegible]

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和8年度 市営住宅柏原団地 5～8 号解体工事（Ⅰ期）

2. 工事場所： 安曇野市 市営住宅柏原団地

3. 工事概要： ・市営住宅柏原団地の既存建物の解体工事を行う。

CB 造 平屋建て 1 棟の除却

5～8 号棟 147.2 m²

4. 工期： 契約日 から 令和9年1月12日

5. 一般事項について

(1)現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2)設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3)工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4)工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1)工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2)排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

- (3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。
- (5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (6) 感染症対策は十分に講じること。
- (7) 各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

(8) 残土関係

本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

○建設発生土

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

~~(9) この工事は執務並行型の工事である。~~

- (10) 本工事は、「安曇野市週休2日工事实施要領」の通期の週休2日工事の対象である。

7. 本工事に関連する別途発注済みの工事

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考
安曇野市	令和8年度 市 営住宅柏原団地 17～20号・29～ 32号改修工事 (Ⅱ期)	令和8年6月 12日～令和9 3月15日	建物の全面改 修等	

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

- ・発注済みの上記工事と工程、仮設等調整し工事を進めること。

8. 安全対策関係

①交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

②安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したと

おり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予想することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

- (1) 公共事業労務費調査等
- (2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

- (1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。
- (2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

- ① 工事受注時契約締結後10日以内
- ② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内
- ③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

- (1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。
- (2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。
- (3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難い場合

は、監督員と協議するものとする。

- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2) 夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めると。
- (4) 熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1) 工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ① 積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ② 過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③ 過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④ 資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤ 下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥ 飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦ 土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2) 以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1) セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~

- ~~(2) セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~

- ~~(3) 六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶~~

~~出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

○報告書の記載内容

- ①アスベスト材料の種別
- ②アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

○添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ①完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する事ができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ②以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため

必要な情報を合わせて通知すること。

25. 設計変更による工事費について

設計変更に伴い算出する変更請負額は、次式により算出する。

$$[\text{変更請負額}] = \{[\text{変更設計工事価格}] \times [\text{当初請負比率}]\} \times 1.1 + [\text{消費税相当額}]$$

当初請負比率： $[\text{当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額}] \div [\text{当初設計額の工事価格}]$

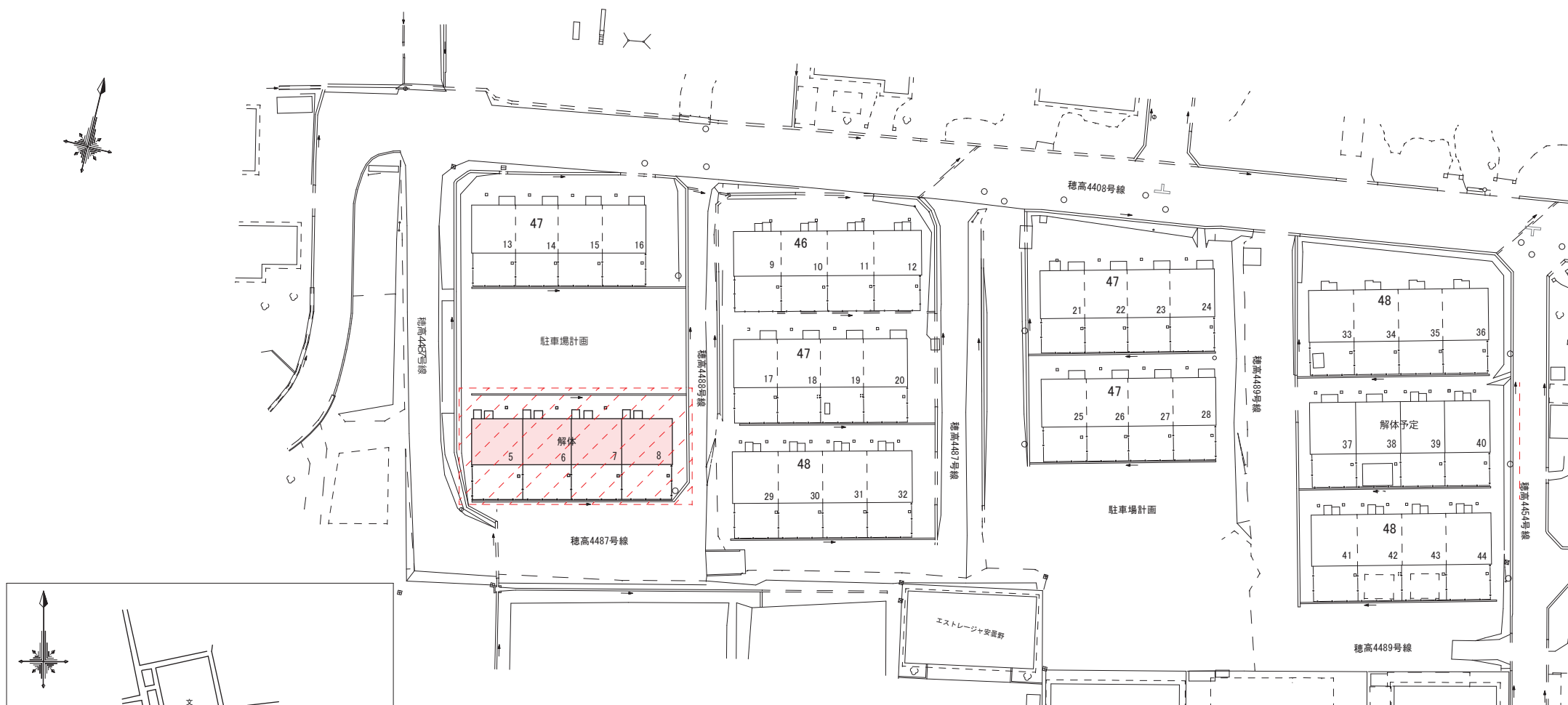
※1 有効桁上位4桁、5桁目以降及び一千万円未満の場合は一万円単位となるよう切り捨て

令和8年4月1日適用版

令和8年度 市営住宅柏原団地 5～8号解体工事（Ⅰ期）

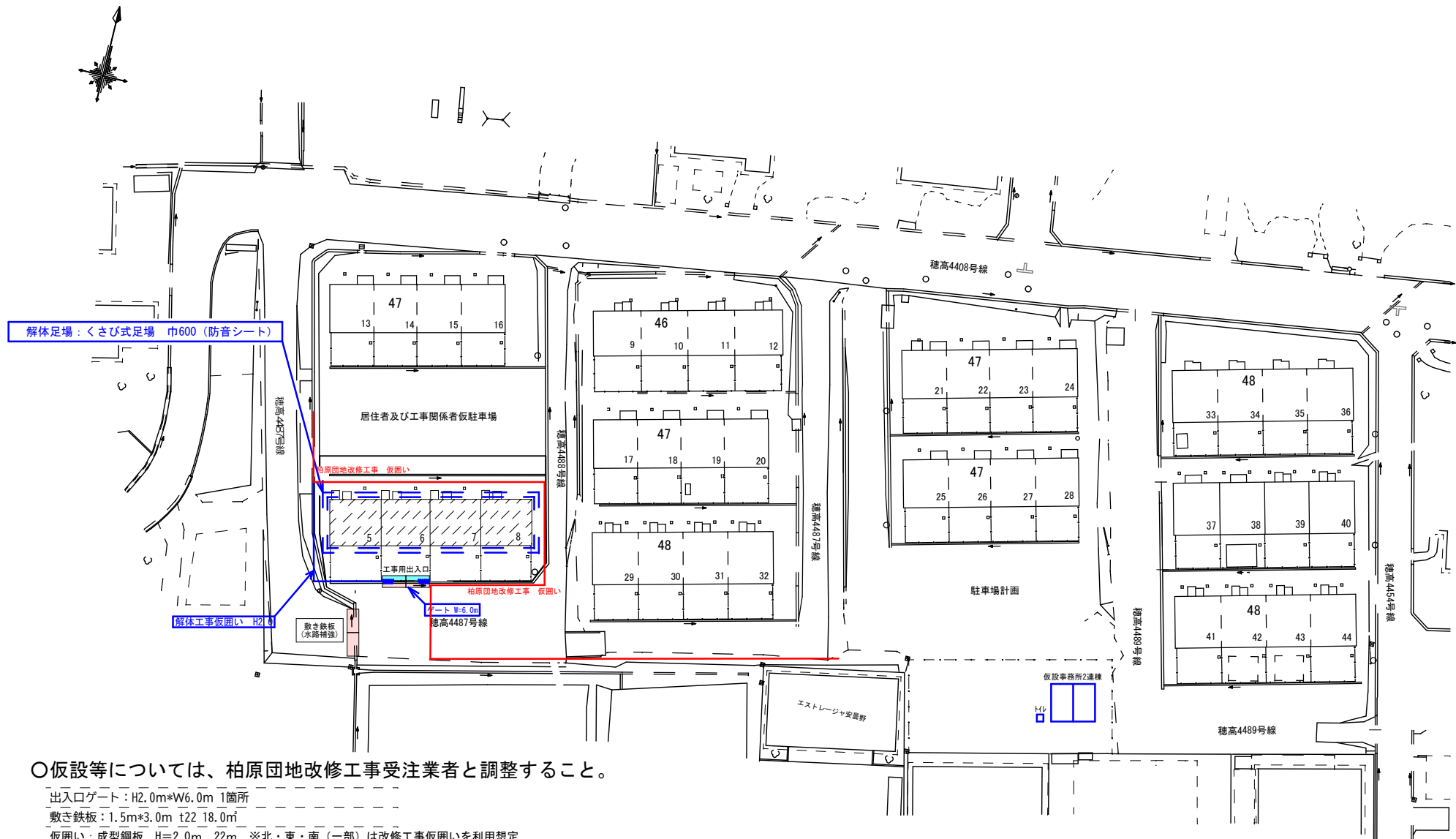
図面番号	図 面 名 称
	表紙・図面リスト
A－01	配置図・案内図
A－02	仮設計画図
A－03	電気・設備計画図
A－04	解体仕様書
A－05	仕上表 S46-5-8
A－06	平面図（4世帯）S46-5-8
A－07	平面詳細図 S46-5-8
A－08	立面図（4世帯）S46-5-8
A－09	展開図 1 S46-5-8
A－10	展開図 2 S46-5-8
A－11	基礎伏図・小屋伏図 S46-5-8
A－12	基礎躯体詳細図・小屋梁図 S46-5-8
A－13	外構図

安 曇 野 市



- 特記事項
- 1) 工事現場及び搬入道路、周辺道路は常に清掃、整理整頓に心掛け、周辺住民に迷惑をかけることの無いように留意すること
 - 2) 搬出入は特に注意し、大型車の搬入などがある場合、交通誘導員など配慮のこと
 - 3) 本工事に必要な官公庁への手続き・諸届（建築物除却届、道路使用申請書等）は、受注者の責任において速やかに行い、その費用は本工事に含むものとする。また、検査に要する諸費用も受注者負担とする
 - 4) 工事期間中は労働安全衛生法等の関係法令に従って、危険防止、災害防止に努め、通溜無きように万全を尽くすこと
 - 5) 近隣対策（事前挨拶、苦情処理、運搬便宜等）は充分に行う。また、近隣からのクレームがあった場合には速やかに監督員に連絡し、指示に従い処理する
 - 6) 工事電気、工事用水については、受注者にて用意し費用負担すること
 - 7) 工事中において、万が一水道管等を破壊した場合は、速やかに所管へ連絡を行いその指示に従うこと
なお、その場合の復旧費用負担は受注者とする
 - 8) 低騒音低振動型の機械を使用し、騒音、振動、防塵は最小限に抑え、周辺環境への影響を最小限に努めること
 - 9) アスベストの含まれる恐れのある建材等、廃材処理については関係法令に従って適切に処理を行うこと
 - 10) 関係機関（安曇野市（上下水）、中部電力、NIT、ガス業者など）との連絡協議調整を充分行い、申請が必要なものは申請を行ってから施工のこと
 - 11) 完了検査による手直、監督員の承認を得て残工事があった場合は、速やかに処理を始め、監督員の承認を得て完成書類と共に引き渡しを行うこと
 - 12) 引き渡し後に生じた施工の欠陥及び設置欠陥故障は契約書に基づき速やかに修理する
 - 13) 施工後の検査が困難となる工事は、随時監督員の立合い検査を受け、必要により写真に記録しておくこと

概略工程表		工事名 令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事（Ⅰ期）															
		1ヶ月目				2ヶ月目				3ヶ月目				4ヶ月目			
打合検査																	
	契約																
準備工																	
解体																	
アスベスト																	
躯体解体																	
外構																	
報告書																	
※工程については参考工程表です。																	



○仮設等については、柏原団地改修工事受注者と調整すること。

出入口ゲート：H2.0m*W6.0m 1箇所

敷き鉄板：1.5m*3.0m t22 18.0㎡

仮囲い：成型鋼板 H=2.0m 22m ※北・東・南（一部）は改修工事仮囲いを利用想定

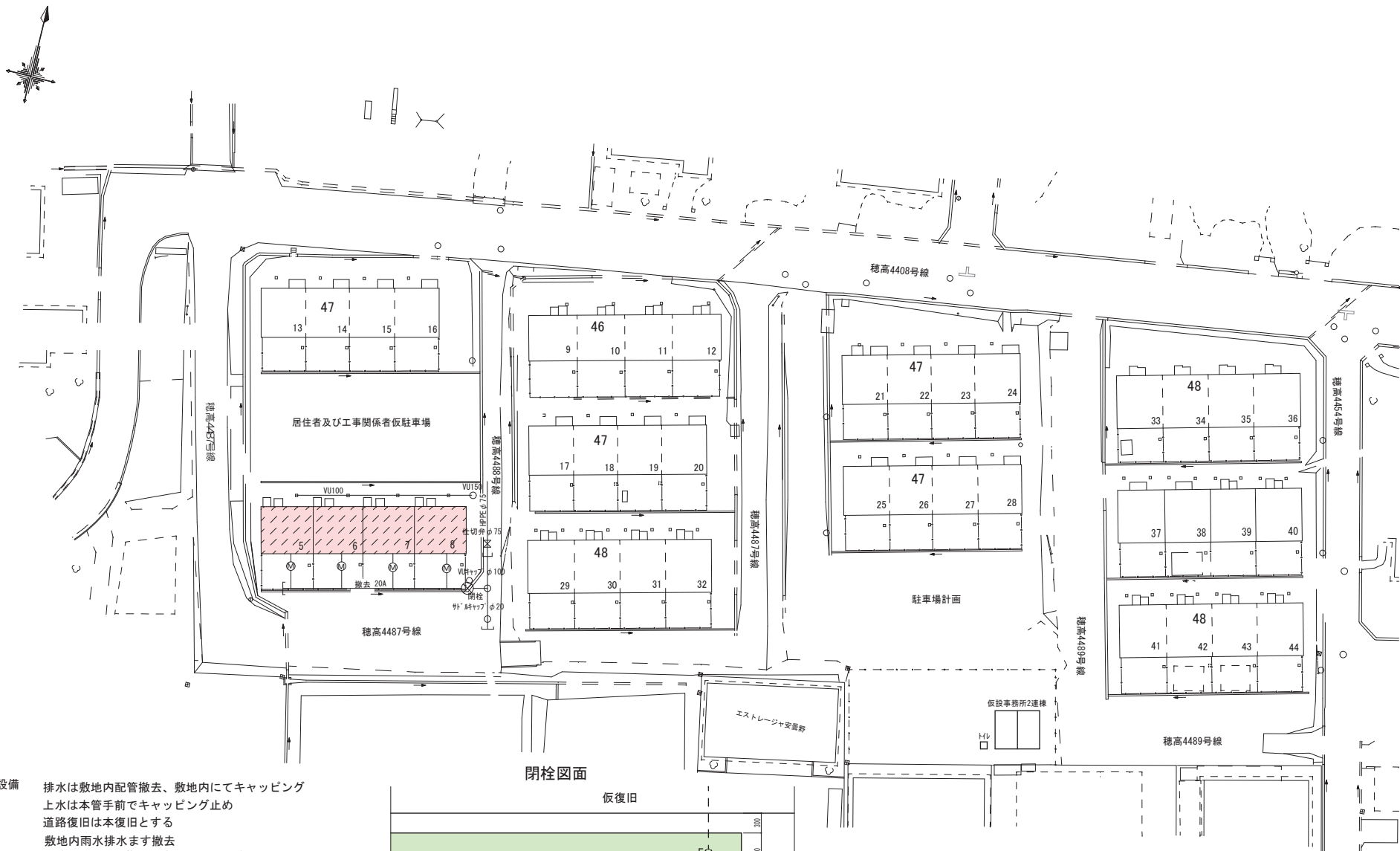
解体足場：くさび式足場 巾600（防音シート）

工事用水、工事電力は有償にて使用可

敷き鉄板：1.5m*3.0m t=22

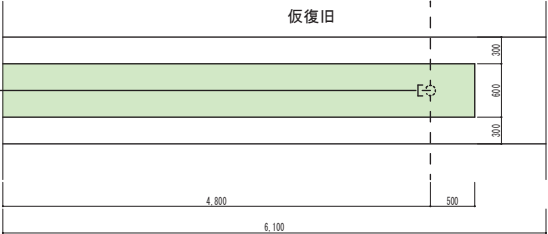
敷き鉄板：1.5m*3.0m t=22 道路使用許可エリア

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE	R8.05.05	令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事（1期）	仮設計画図 SCALE S=1/500	A-02



機械設備
排水は敷地内配管撤去、敷地内にてキャッピング
上水は本管手前でキャッピング止め
道路復旧は本復旧とする
敷地内雨水排水ます撤去
水道メーターは撤去し安曇野市上水道課に返却のこと
ガスメーターなどは専門業者対応（工事対象外）
申請については施工業者対応

電気設備
電気切り離し（引込部分：一時側）は専門業者による
電話切り離し（引込部分：一時側）は専門業者による
申請については施工業者対応



			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE	RB. 05. 05	令和8年度 市営住宅柏原園地5～8号解体工事（1期）	電気・設備計画図	A-03
						SCALE	S=1/500

[illegible]

建築概要

工 事 名	令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事（Ⅰ期）		
建 築 主	安曇野市		
工事場所	安曇野市穂高柏原3278番地ほか 市営住宅柏原団地		
用途地域	指定なし 安曇野市土地利用条例で定める田園環境区域		
主要用途	集合住宅		
構 造	ＣＢ造 平屋建て		
最高高さ	４．３３０mm	最高軒高さ	２，９５０mm

各 面 積	5~8号 4戸建て 1棟		合 計
敷 地 面 積	m ²		m ²
建 築 面 積	m ²		m ²
延 床 面 積 1棟	147.2 m ²		m ²
該当建物			

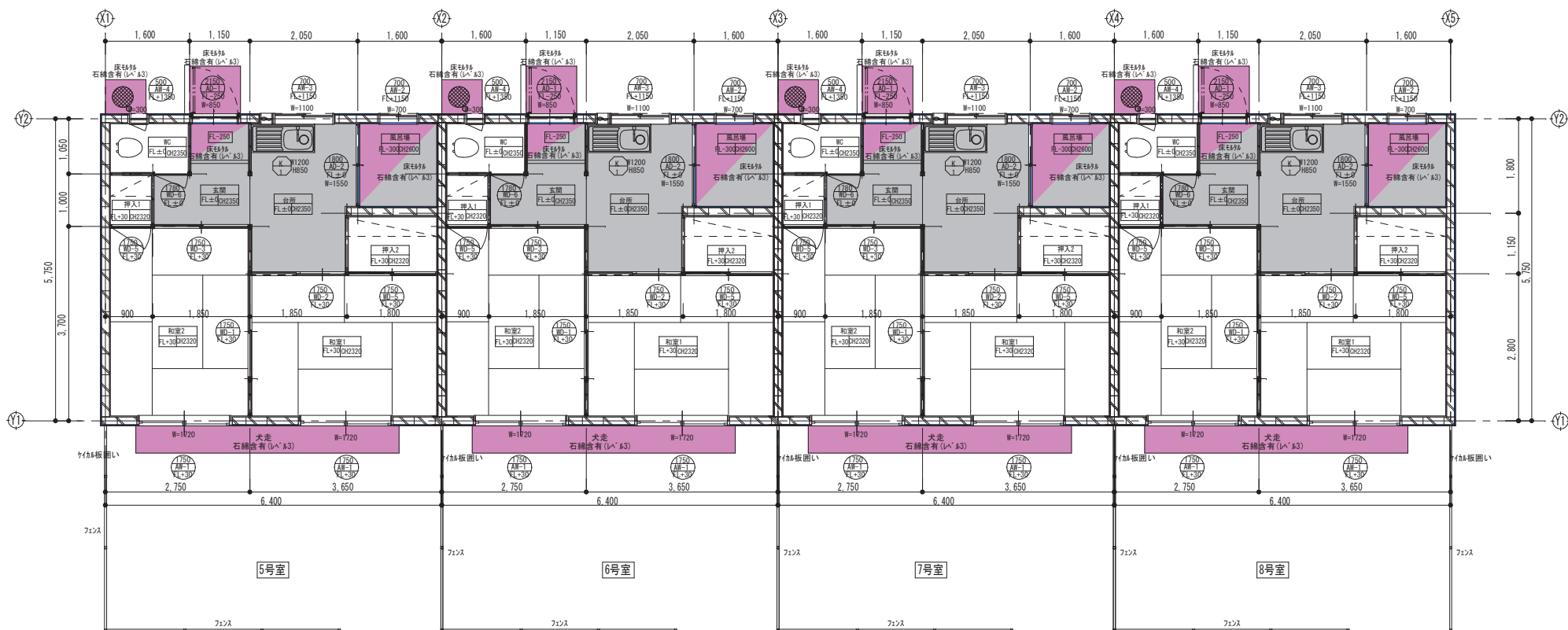
外部仕上表

屋 根	粘土葺 瓦葺 アスファルトルーフィング	ポーチ・犬走	コンクリート打うえモルタル金網押さえ				
	野地板 t=12.0 垂木39*60@455	床下	木製				
破風・鼻隠し	カラーG.L.鋼板 下地 木	断熱材	天井：なし	壁：なし	床下：なし	基礎：なし	
軒 裏	セメントボード t=6.0 一部有孔 (スレート)						
外 壁	C.B.壁モルタル下地の上リシン	金物	樋：カラー鋼板				
基 礎	基礎コンクリート モルタル仕上げ	その他	煙突	臭突	換気扇	レジスター	床下換気口
窓サッシ・ドア	サッシ：アルミ 木製建具 ※アスベスト (コーキング)						

内部仕上表

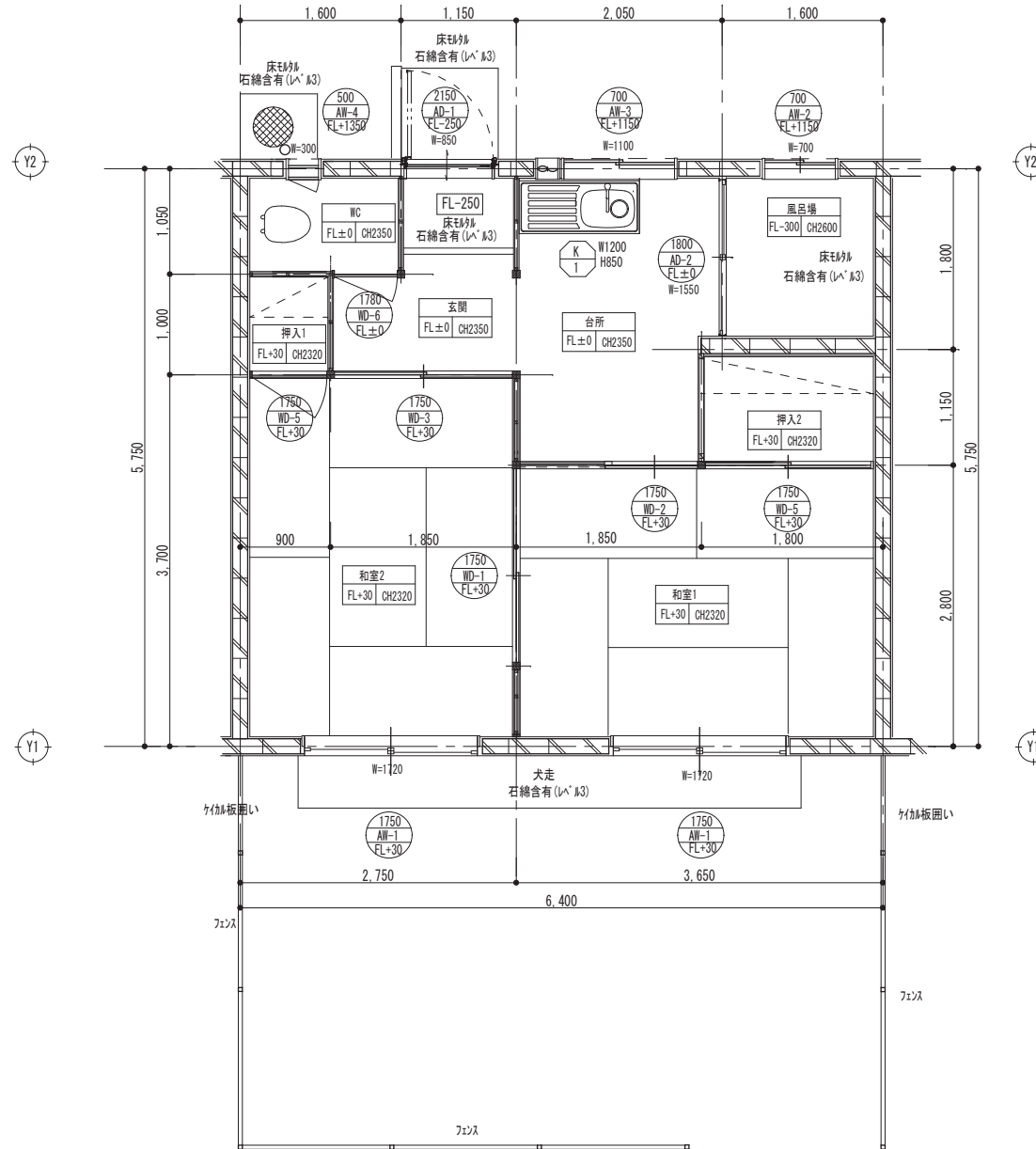
階	室 名	床	下地	壁	腰 部	壁	壁 (上部含む)	天井	平均天井高 mm	備 考
1	玄関	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		バルブセメント板 t=6.0	CH = 2.350	框 75×135
	和室 1 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		杉継石膏ボード	CH = 2.320	
	和室 2 (6.0畳)	タタミ t=60	荒板張り t12	タタミ寄せ	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		杉継石膏ボード	CH = 2.320	
	押入 1	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り	ラワン合板	ラワン合板		ラワン合板	CH = 2.320	押入・中段あり
	押入 2	ラワン合板 (中段とも)	木下地組	見切り	ラワン合板	ラワン合板		ラワン合板	CH = 2.320	押入・中段あり
	浴室	金鍍押さえ (土間コンクリート)	モルタル	モルタル	モルタル	モルタル		セメント板 t=6.0 ※ (スレート)	CH =	
	台所	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		バルブセメント板 t=6.0	CH = 2.350	ガス台流し
	トイレ	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2.350	下部 便槽 (基礎)
	廊下	無垢フローリング (板) t12.0	木下地組	木製	P B t=7.0 モルタル グラスター	P B t=7.0 モルタル グラスター		化粧 P B t=7.0 AEP塗装	CH = 2.350	
					凡例					
					※アスベスト (みなし含む) を示す					

5 ～ 8 号室		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事 (I期)	MAP NAME 仕上表 S46-5-8	MAP NO. A-05
		DATE R8.05.06			SCALE NON	

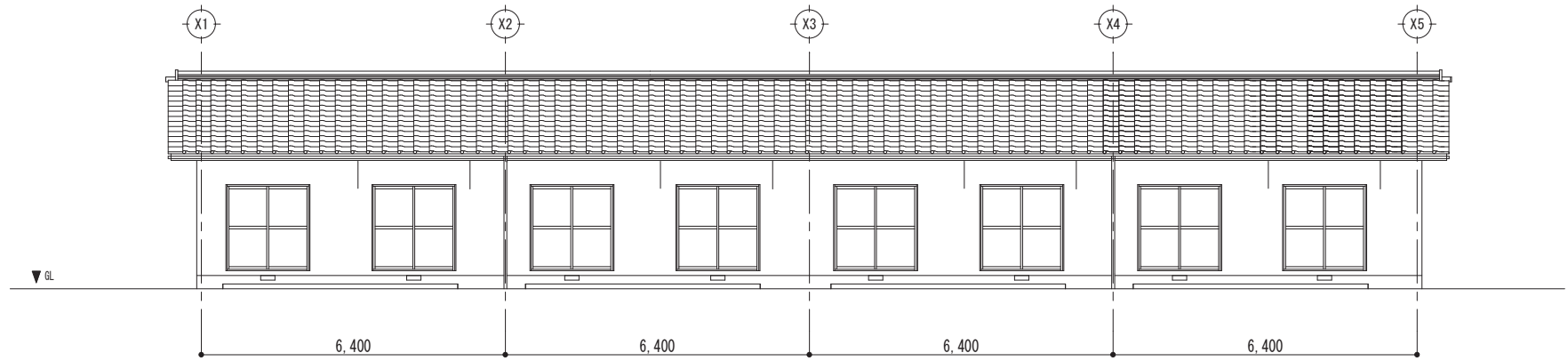


7スベスト関連(レハル3みなし含む) 凡例
 床 床外、床外下地
 壁 クロ 壁 化粧板・ド 壁 化粧
 天井 スレート・ド、化粧PB

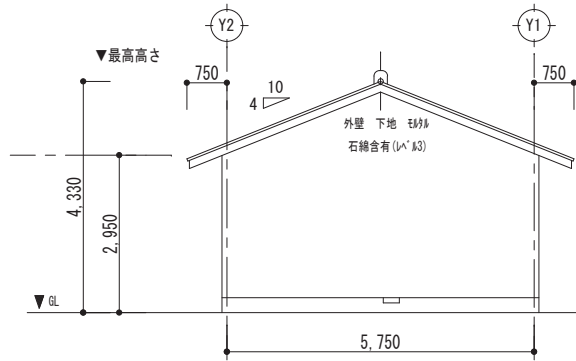
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5~8号解体工事(Ⅰ期)	MAP NAME 平面図(4世帯) S46-5-8	MAP NO. A-06
	DATE			SCALE A3 S=1/80			



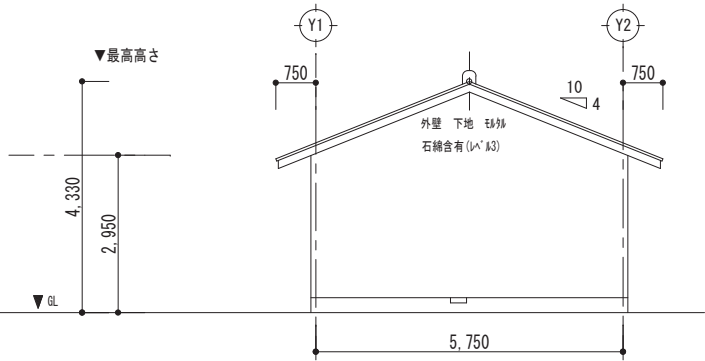
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5~8号解体工事（1期）	MAP NAME	MAP NO. A-07
			DATE R08.05	平面詳細図 S46-5-8			
						SCALE A3 S=1/50	



南側立面図 S = 1 : 100

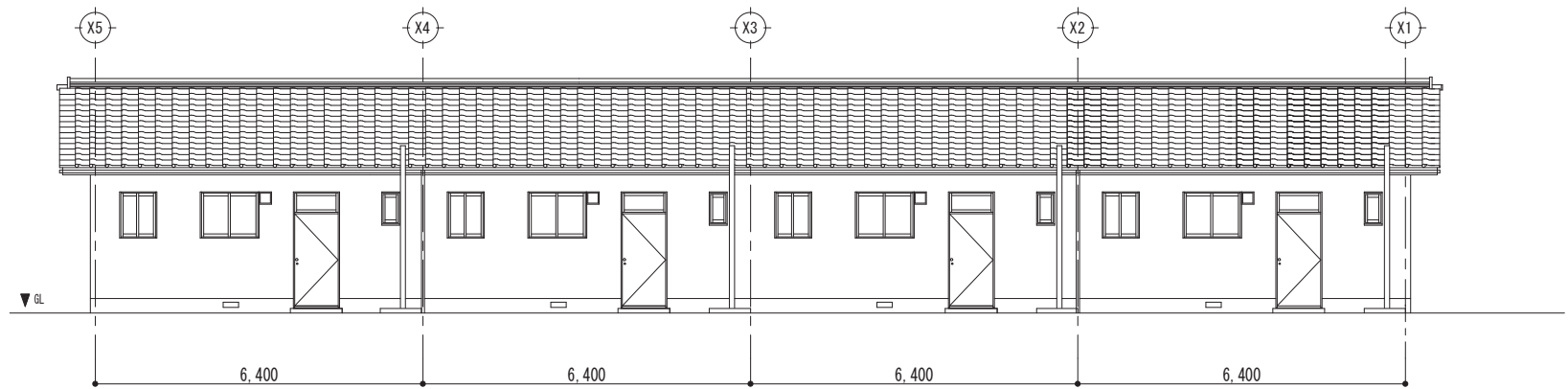


西側立面図 S = 1 : 100



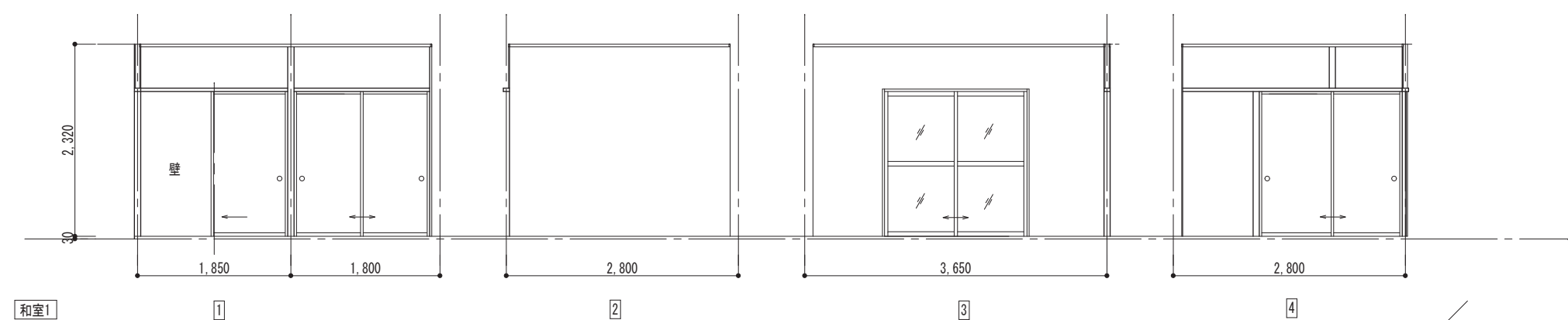
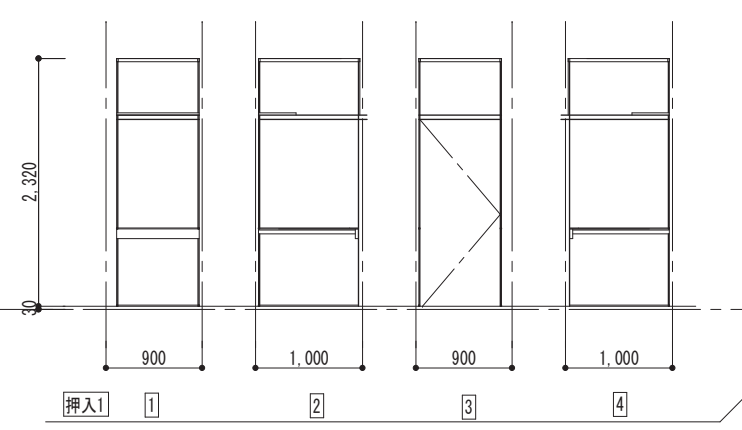
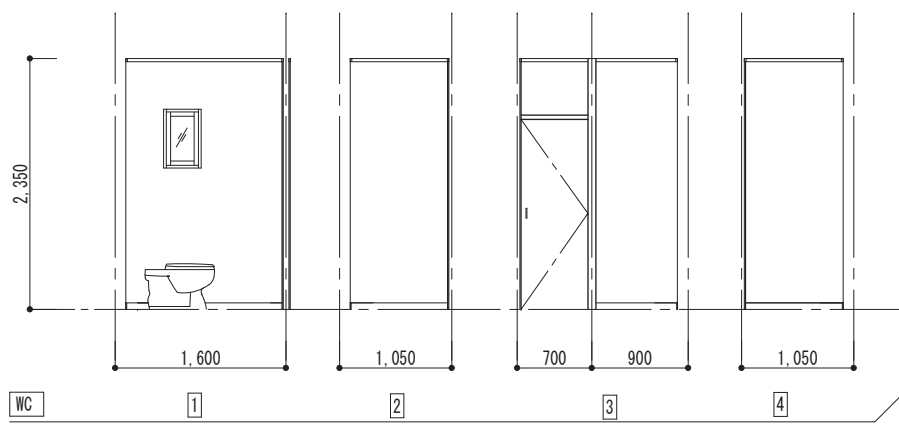
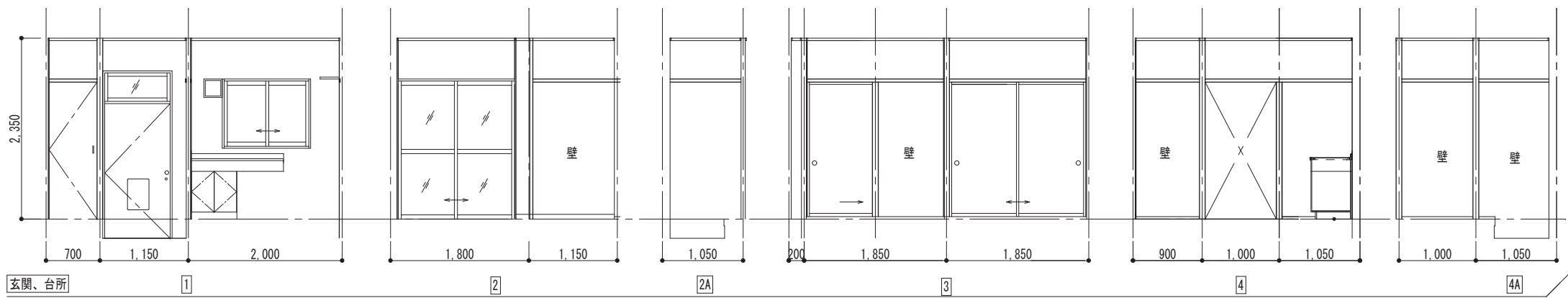
東側立面図 S = 1 : 100

- 外部 石綿建材（共通）1/100相当
- ・外壁 リン
 - ・軒天 珪藻土板 みなし
 - ・浴室外 煙突 みなし
 - ・基礎（垂直面）
 - ・基礎（床面）

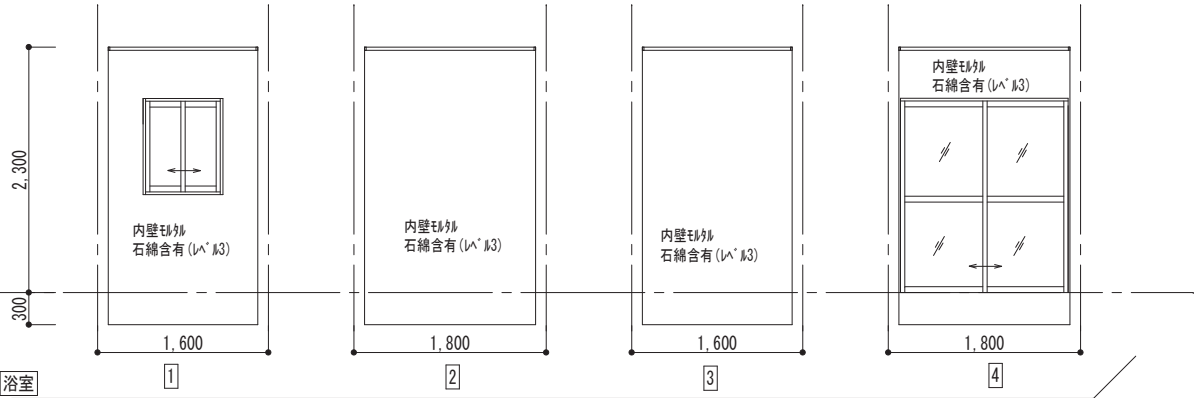
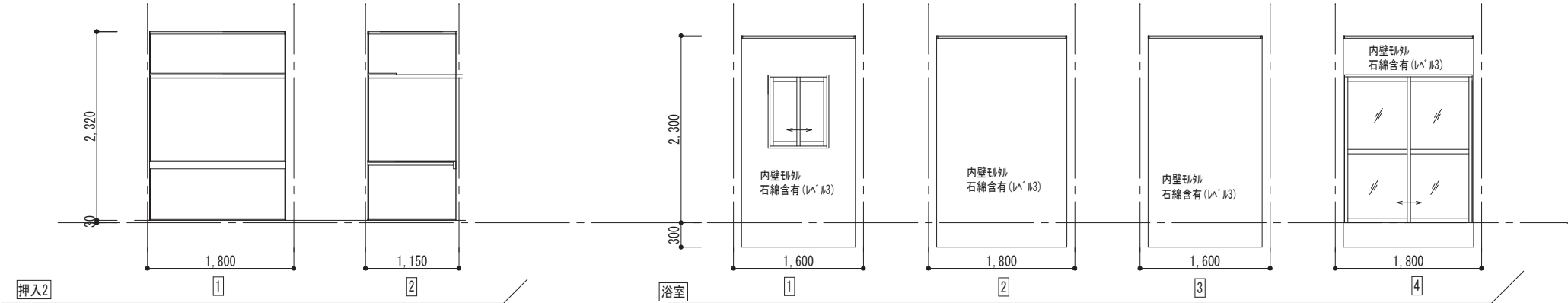
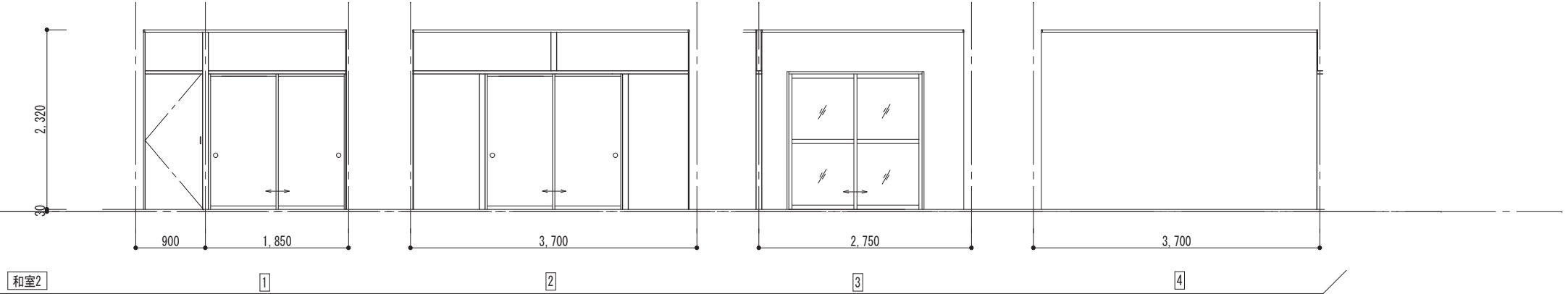


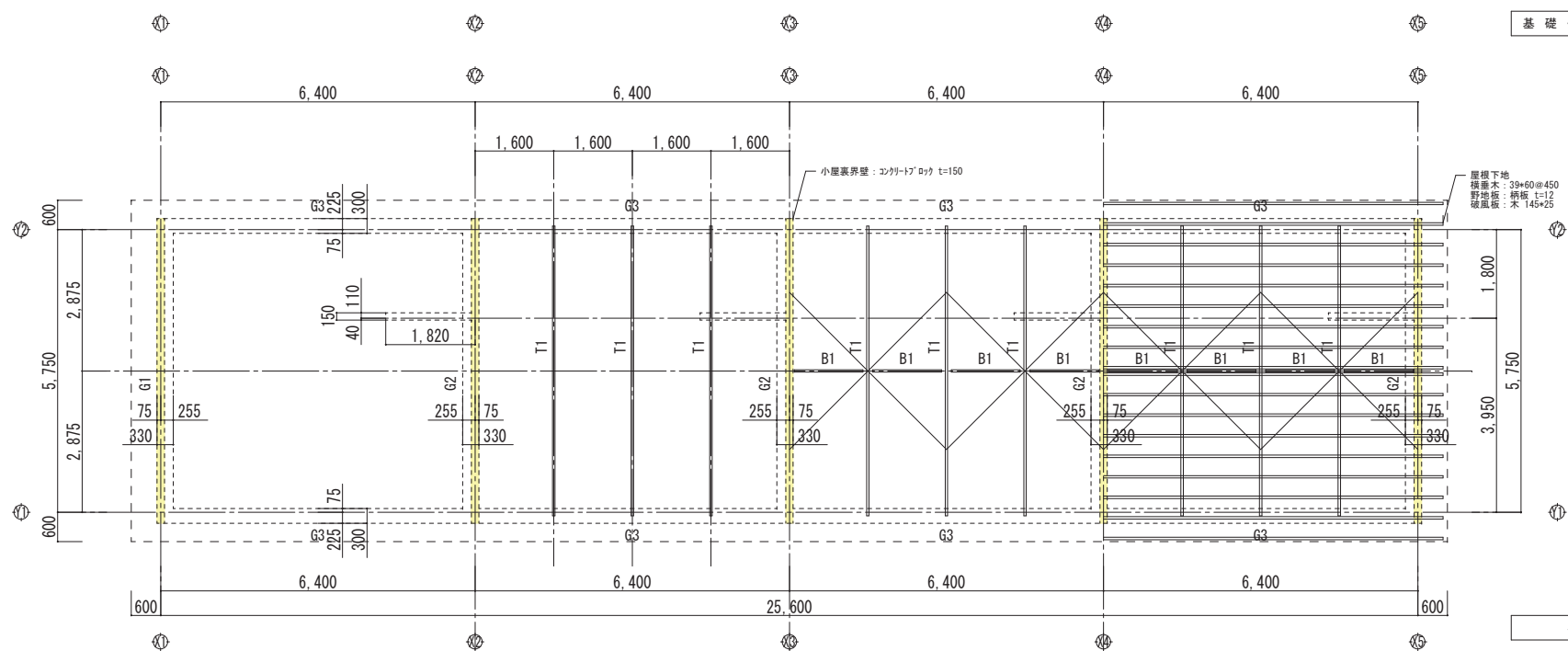
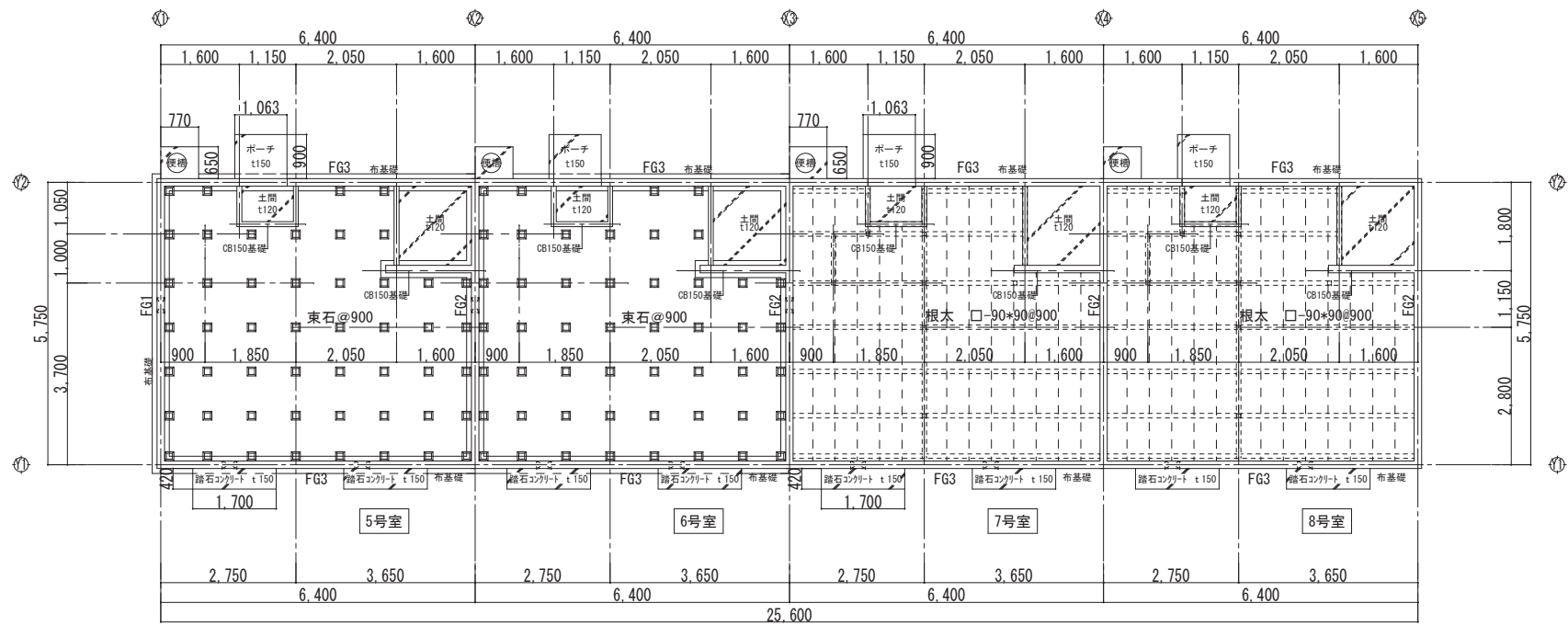
北側立面図 S = 1 : 100

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5~8号解体工事（I期）	MAP NAME 立面図（4世帯）S46-5-8	MAP NO. A-08
			DATE R08.05		SCALE A3 S=1/100		



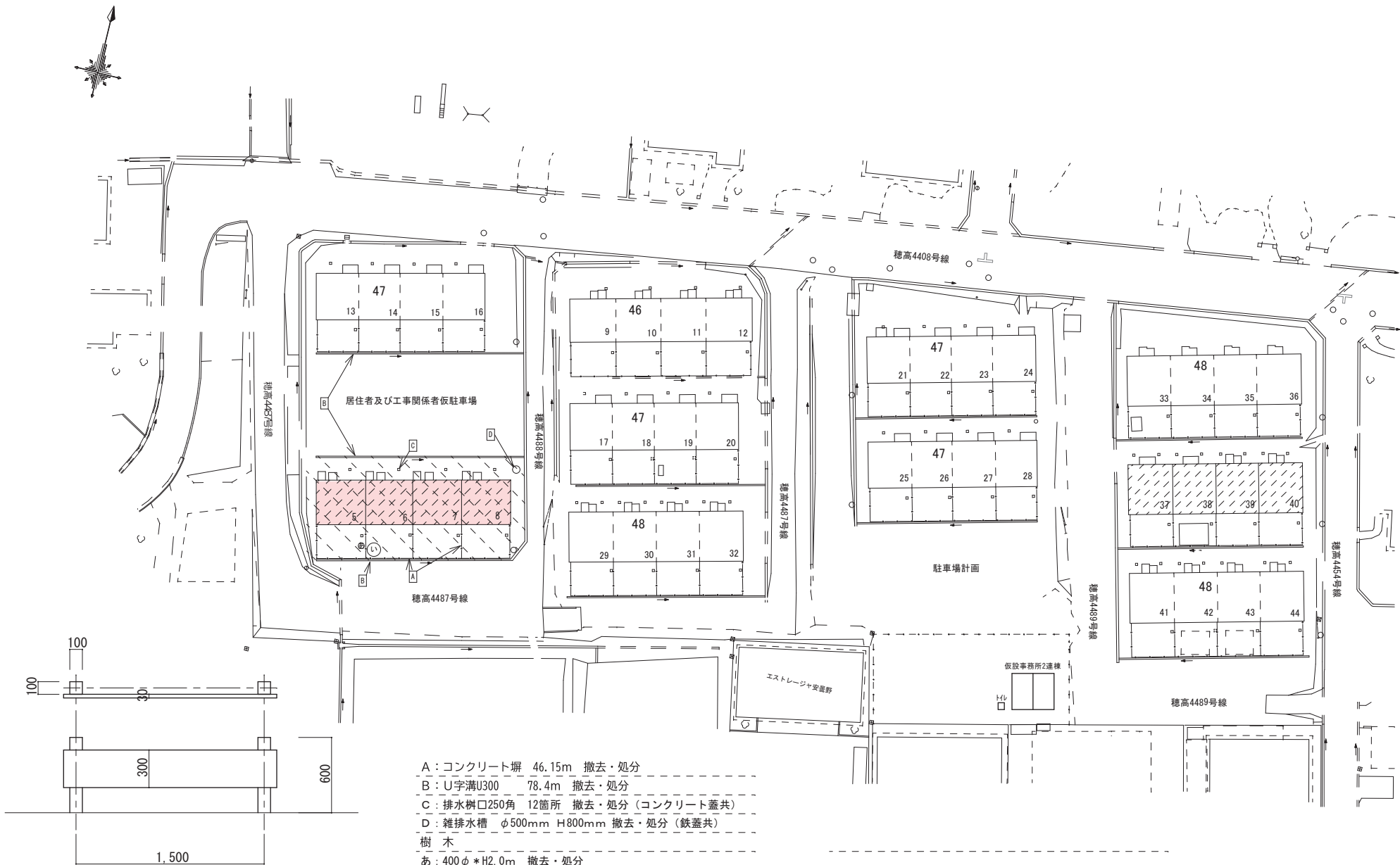
			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5~8号解体工事（1期）	MAP NAME 展開図 1 S46-5-8	MAP NO. A-09
	DATE R08.05		SCALE A3 S=1/50				





			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和8年度 市営住宅柏原団地5~8号解体工事（Ⅰ期）	MAP NAME 基礎伏図・小屋伏図 S46-5-8	MAP NO. A-11
				DATE R08.05	SCALE S=1/100		

	5～8号室		DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME 令和0年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事（1期）	MAP NAME 基礎躯体詳細図・小屋梁図	MAP NO. A-12
				DATE R08.05		SCALE A3 S=1/30, 1/40	



- A : コンクリート塀 46.15m 撤去・処分
B : U字溝U300 78.4m 撤去・処分
C : 排水樹口250角 12箇所 撤去・処分 (コンクリート蓋共)
D : 雑排水槽 φ500mm H800mm 撤去・処分 (鉄蓋共)
樹 木
あ : 400φ * H2.0m 撤去・処分
い : 900φ * H2.0m 撤去・処分
※その他 存置物は別途協議※

A コンクリート塀 立面図・平面図 S=1/30

			DRAW	CHECK	CONSTRUCTION NAME	MAP NAME	MAP NO.
			DATE	R08.05	令和8年度 市営住宅柏原団地5～8号解体工事(1期)	外構図 SCALE S=1/500	A-13